

研究課題名	肺癌患者の身体機能が肺切除術後の経過に及ぼす影響に関する検討
研究期間	実施許可日 ~ 2027年3月31日
研究の対象	2007年4月から2024年3月の間に、広島大学病院呼吸器外科で呼吸器悪性腫瘍の手術を受けられた患者さん。
研究の目的・方法	<p>※平易な表現で簡潔にまとめて記載してください</p> <p>研究目的：肺切除範囲毎に術前の身体機能と術後経過との関連を明らかとし、さらに、手術前後の身体機能を比較することで肺切除範囲毎に手術が身体機能に及ぼす影響を明らかにすることを目的としています。術式毎に術後合併症や死亡リスクの高い患者さんを術前に選別することができれば、患者さん毎により適切な術式を選択することが可能です。</p> <p>研究の方法：2007年4月～2024年3月の期間に肺癌に対して肺切除を施行した患者さんを対象に、術前後の身体機能と術後合併症、予後との関連を検索します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	用いる内容：年齢、性別、喫煙歴、喫煙指数、6分間歩行、階段歩行、握力、関節可動域、呼吸機能、画像検査での間質性肺炎や肺気腫の有無、腫瘍の特徴、病期、顕微鏡検査での腫瘍や肺の特徴、手術時間、出血量、癒着の有無、合併症の有無、切除部位、切除肺容積、予後などです。（個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ）
外部への試料・情報の提供	本学単独研究で外部への提供ありません
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 腫瘍外科 教授 岡田 守人</p>

その他	特記事項なし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 呼吸器外科 担当者：見前 隆洋 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5869</p>